



公立大学法人

福島県立医科大学 平成22年度「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」

全員参加FD講習会

専門化社会と「物語を生きる人間」

～「2.5人称の視点」が拓くもの～

<プロフィール>

1936年 栃木県に生まれる

NHK記者として14年間報道の仕事に携わった後、作家活動に入り、現代人の「いのちの危機」をテーマに、医療、災害、事故、公害などの問題について、ノンフィクションのドキュメント作品や評論の執筆活動を続けている。最近、終末期医療、死を前にした生き方、ネット社会と子どもの人間形成の問題などについて、積極的に取り組んでいる。

医療関係の仕事では、厚労省脳死検証会議委員、勇美記念財団在宅医療助成選考委員長、21世紀高野山医療フォーラム理事長などを務めている。

<主な受賞>

1979年 『がん回廊の朝』で第1回講談社ノンフィクション賞

1990年 日本対ガン協会賞

1995年 『犠牲～わが息子、脳死の11日』とノンフィクション・ジャンルの確立への貢献により第43回菊池寛賞

2002年 航空安全思想の普及への貢献で国土交通大臣特別表彰

<医療関係の主な著書>

『死の医学への日記』（新潮社）、『新・がん50人の勇気』（文藝春秋）、共著の作品に『<突然の死>とグリーンケア』（春秋社）、『家で生きることの意味』（青海社）、『「生と死」の21世紀宣言』（青海社）などがある。



ノンフィクション作家・評論家

やなぎだ くに お

柳田 邦男 氏

目的

本学及び本学附属病院において研究や診療に従事する全職員が、教育機関・研修病院の一員として“医療人の教育・育成”について理解を深めるため、FD (Faculty Development) 講習会を開催する

とき 2011年 **2**月 **4**日 (金) **18:00~19:00**
(受付 17:45~)

場所 福島県立医科大学 講堂

対象 大学全教職員、附属病院全職員 (全職種)

* 参加者にはFDシール2011を発行します

【問い合わせ・申し込み先】

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター (CMECD)

(内線 3015 または 3232)